



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第566号

2022年10月3日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 日本共産党は補正予算の組み替えを提案

新型コロナウイルスの国内での感染が確認されてから2年半が経過していますが、市民の命と健康、暮らしを守る取り組みは極めて不十分と言わざるを得ません。

さらに、アベノミクスの失政による異次元の金融緩和のもと円安が進行、外国からの資源、食料などの値上がりによる物価高騰で国民生活に深刻な影響をもたらしています。

その上、非正規雇用の拡大により先進資本主義国で唯一賃金が上がらないどころか、実質賃金はマイナスとなっています。市民の暮らしを守るために、日本共産党と三田議員との共同で、補正予算の組み替え提案を行いました。



## 公共施設等整備基金7億円を活用すべき

市は、9月議会に「公共施設等整備基金」条例を提出、可決されることを前提に、約7億円を新たに積み立てる補正予算を提案してきたのです。

日本共産党などは、新型コロナウイルス感染拡大が収束せず、異常な物価高騰のもとで市民の暮らしと生業がより深刻になっているのに、基金に積み立てている場合ではない、低所得者対策や学校給食の無償化など、市民の暮らしを守る施策にこそ予算を活用すべきであるとの立場で、補正予算の組み替え提案を行いました。

## 組み替え提案の具体的な事業

1. 公共施設等整備基金積立金、7億円の積み立てを見送り、その財源を以下の事業に振り向ける。
2. 低所得者対策として、住民税均等割りのみ課税の世帯に対し、1世帯5万円給付するため、1億2,500万円を計上。
3. 子ども医療費助成として、通院、調剤に係る医療費に対する助成を18歳まで拡大するため、6,000万円を計上。
4. 学校給食費の助成として、すべての児童・生徒の学校給食費を無償とするため2億8,000万円を計上。
5. 国民健康保険料の子育て世帯への負担軽減として、中学生以下の子供に係る均等割り保険料を免除するため、国民健康保険特別会計繰り出し金として1,250万円を計上。
6. 生活道路などの損傷部分の補修及び通学路の安全対策のため、2億9,400万円を計上。

日本共産党などが提案した補正予算の組み替え（案）は、賛成者少数にて否決されましたが、市民のみなさんの願いを反映したものであり、今後、実現に向け、みなさんと一緒に奮闘する決意です。

(裏に組み替えの表を掲載)

# 令和4年度八千代市一般会計補正予算（第5号）に対する組替え案

歳出

(単位：千円)

費目	金額	備考
公共施設等整備基金積立金	△ 700,000	
低所得者対策	125,000	住民税均等割のみ課税の世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付（2,500世帯）
子ども医療費助成	60,000	通院、調剤に係る医療費に対する助成を18歳まで拡大（令和4年10月～令和5年3月分）
学校給食費補助	208,000	全ての児童、生徒の学校給食の無償化（令和5年1月～3月分）
国民健康保険事業特別会計繰出金	12,500	中学生以下の子供に係る均等割保険料を免除するための繰出金（令和4年10月～令和5年3月分）
道路橋梁管理事業 道路橋梁補修事業 交通安全施設整備事業	294,500	市道の損傷部分の補修及び通学路の安全対策
計	0	